

## 感謝を込めて - 図書館サポーター報告

図書館サポーターの皆さん、さまざまな企画・活動をありがとうございました。

学生さんの目線で、よりたくさんの方の学生さんへ、図書館の利用方法や魅力、読書の楽しさ・楽しみ方を伝える アイデア・企画を考え実施してくれました。同じ学生さんが参加する図書館は、他の学生さんからも親しみを感じられたことと思います。



奥山館長とサポーターの皆さん

全員が集まれる日に設定できず申し訳ありませんでした

また、一貫して、一学生として利用する立場からだけでなく“みんなの図書館”を真摯に考えて活動してくれていました。だからこそ、他の利用者の学生さんたちにも、自然に“みんなの図書館・みんなの本”を大切にしようと、本の扱いや館内マナーを考えるきっかけになってくれたと実感しています。サポーターの皆さんから直接聞いたホンネ、図書館の良いところも改善すべき点も、また、サポーターの企画への利用者の感想を聞いて図書館の足りないところも気づかされ、私たち図書館スタッフにもとても勉強になりました。皆さんの意見、努力してくれたこと、そして図書館に対する姿勢、さまざまなことを私たちも仕事に生かしていきたいと思っています。ありがとうございました。

2014/3/4 図書館・係長：涌井弘美

サポーターの皆さんにアンケートに答えていただきました。

1. 楽しかったことは？
  2. 大変だったことは？
  3. やってみたいと思っていたけどできなかったことや改善点の提言
- 本間さん(英語・大学院生: [図書館を遊ぶ・第1弾「ビブリオバトル」](#)担当)
    1. ビブリオ・バトルが楽しかったです。
    2. 修論を書いている最中に参加することが大変でした。他は特にはないです。
    3. 文学に関する映画上映会ででしょうか。
  - 河邑さん(国語・3年: [Book Paper 1号](#)担当)
    1. Book Paper を作る時にページのデザインをしたり、取りあえる内容を決めたりするのが楽しかったです。
    2. 二人で相談しながら作ったので、予定を合わせるのが少し大変でした。
    3. 後期に入ってから忙しくなり、Book Paper を発行できなかったのが残念でした。また季節感のある展示などもしてみたかったです。
  - 森くん(国語・2年: [図書館を遊ぶ・第2弾「三浦綾子を書く」](#)担当)
    1. 自分の手で企画を実現させ、形にしていくということが最も楽しかったです。
    2. 企画を手伝ってくれるゼミの代表者とのコンタクト。どんな展示にするのか等、細かい事は結局当日になってしまいました。
    3. 基本的に館内で企画が行われていたので、図書館をアピールするなら館外での展示等も面白そうだと思います。

- 石黒くん(数学・1年:図書館を遊ぶ・第3弾「数」と遊ぼう! 数学パズル展)担当
  1. 数学という学問を学びの場から見るのではなく、遊びという立場から見れたことが大変楽しかったです。また、図書館という場所には今まであまり行っていなかったので、改めて図書館の大切さを感じさせられました。
  2. 本の内容を理解しているつもりでしたが、いざ内容を紹介しようとなるとなかなか思いつかず苦労しました。そしてパソコン操作もなれていなく、パソコンでの作業に大変苦戦しました。
  3. 自分自身の改善点としては、もっとアイデアをしっかりと持ち、具現化できる力を身につけなくてはいけないと思いました。また、人に伝える力もまだまだ未熟な部分があり、この点も改善しなくてはいけないと感じました。
- 齊藤さん(国語・3年:Book Paper 第2号担当)
  1. 前年度に選書委員会を行った時よりも企画を考えるのが面白かったです。
  2. 年間を通してサポーターの企画が図書館で行われることは図書館を訪れる人にとって有益なものだと思います。しかし、サポーターの人数が少なく専攻に偏りがあったため、効率よく企画を進めることが出来ませんでした。
  3. 来年度は4年生として、選書活動を中心に、また参加させていただきたいです。1年間ありがとうございました。
- 伊藤さん(国語・4年:Book Paper 第2号担当)
  1. 他の人が出してくれた意見を聞くのが楽しかったです。
  2. 見やすいように興味を持てるようなレイアウトや内容を考えるのが難しかったです(Book Paper)。
  3. 学年によって活動にどれくらい参加できるか決まってきますし、参加できる時期も変わってきます。今後は1年間、どのような活動をして誰が担当するのか等を、年度始めにもっと細かく計画を立てた方がスケジュール調整しやすいですし、何より活動がもっと充実してくると思います。また、学生が図書館にもとめるものは何かをもっと取り入れた活動をしてみたかったです。
- 紺谷さん(美術・3年:Book Paper1号担当、図書館マスコット HUEA 君作成、ほか)
  1. Book Paper の内容を考えたこと
  2. 図書館を知ってもらうためのアイデアを出すこと
  3. もっとBookPaperの製作に関わりたかったです。お手伝いできずすみません。図書館の特集(ディスプレイ)をもっと盛り上げると良いと思います。
- 須賀くん(国語・3年:学生選書委員会担当)
  1. 学生選書委員会担当だったので、やはり、何を図書館にいれてもらうかと考えている時が楽しかったです。
  2. 私自身に絵心などが無いのと難しい本が多かったので、本の紹介を書くのに苦労しました。
  3. 選書委員のポスター作製はかなり紺野さんに手を貸していただきました。このようにもっと助け合えたら良かったかと思います。予算もどのように使うかをみんなで話し合った方が、更に良かったかもしれません。